

公表

事業所における自己評価結果

| 事業所名     |    | 児童デイサービスこはる  |    |     |  |                  | 公表日 | 2025/3/14 |
|----------|----|--|----|-----|--|------------------|-----|-----------|
|          |    | チェック項目   | はい | いいえ | 工夫している点  | 課題や改善すべき点        |     |           |
| 環境・体制整備  | 1  | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。   | ○  |     | 十分な活動スペースと個室を2部屋設置しており、児童の様子に応じて活用している。                      |                  |     |           |
|          | 2  | 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。  | ○  |     | 配置基準を上回る配置をしている。   |                  |     |           |
|          | 3  | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。  | ○  |     | トイレや洗面所、荷物置き場、出入口など児童にとって分かりやすい構造であり、バリアフリーである。              |                  |     |           |
|          | 4  | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。  | ○  |     | 広くて清潔で、児童が落ち着いて過ごせる空間である。                                    |                  |     |           |
|          | 5  | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。   | ○  |     | 児童の意向あるいは児童の様子から職員が判断して使用できる環境である。                           |                  |     |           |
| 業務改善     | 6  | 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。   | ○  |     | 年度計画を立て半期ごとに評価を行っている。  |                  |     |           |
|          | 7  | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。   | ○  |     | 保護者からの結果を参考に改善に努めている。  |                  |     |           |
|          | 8  | 職員の意見を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。  | ○  |     | 毎月の職員会や管理者による職員面談を実施し意見を反映できるよう努めている。                        |                  |     |           |
|          | 9  | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。   |    | ○   | 第三者評価は受けていない。  | 今後検討していく必要がある。   |     |           |
|          | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。  | ○  |     | 全職員が研修を受けることができる環境を整備している。また資格取得等の研修が受講できるよう配慮している。          |                  |     |           |
| 適切な支援の提供 | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。  |    | ○   | 現在支援プログラムを作成中であり、まだ公表できていない。                                 | 近日中に作成し速やかに公表する。 |     |           |
|          | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。   | ○  |     | 利用開始時のアセスメント、保護者・児童の要望および相談支援専門員等の情報をもとに放課後等デイサービス計画を作成している。 |                  |     |           |
|          | 13 | 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。   | ○  |     | 定期的に全職員参加の支援会議を開き、検討を行ったうえで、放課後等デイサービス計画を作成している。             |                  |     |           |
|          | 14 | 放課後等デイサービス計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。  | ○  |     | 全職員が放課後等デイサービス計画を確認している。                                     |                  |     |           |
|          | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。  | ○  |     | 事業所で定められた様式に基づくアセスメントに加えて、日々の児童の様子を職員間で共有している。               |                  |     |           |
|          | 16 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | ○  |     | 各児童の特性を踏まえながら、支援項目を設定している。                                   |                  |     |           |
|          | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。   | ○  |     | 職員間で十分に話し合い、活動内容を決めている。                                      |                  |     |           |
|          | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。   | ○  |     | 職員間で意見を出し合い、工夫しながら活動内容を決めている。                                |                  |     |           |
|          | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。   | ○  |     | 児童の特性を踏まえて、計画作成及び支援の実施を行っている。                                |                  |     |           |